

未確定・取扱注意

第2次江別市環境管理計画 兼 地球温暖化対策実行計画(区域施策編) (素案)に係る意見公募(パブリックコメント)の実施結果と市の考え方 について

■意見の募集結果

募集期間	令和5年11月28日から令和5年12月27日まで
提出者数	2人
提出件数	23件

■意見の反映状況

区 分		件数
A	意見を受けて案に反映するもの	5
B	案と意見の趣旨が同様と考えられるもの	8
C	案の変更はないが、今後の参考等とするもの	9
D	案に反映しないもの	1
E	その他の意見	0
合 計		23

令和6年 月

江別市生活環境部環境室環境課

■寄せられたご意見と市の考え方

(ご意見につきましては、可能な限り原文のとおりとし、受付順に掲載しております。)

(ページ番号は、意見を募集した計画素案のページ番号を記載しております。)

No.	ページ	寄せられたご意見	ご意見に対する市の考え方	意見の反映状況
1	全般	<p>国連の気候変動枠組条約締約国会議において、温暖化被害の抑制には気温の上昇を産業革命前と比べ1.5度で止める必要があるとされています。会議を重ね石炭火力の段階的削減も合意されましたが、ガス削減での前進はなく、瀬戸際の状況が浮き彫りとなっています。国際関係における枠組みは、後々国や自治体における取組と関係してきます。世界のことから…と突き放すのではなく、われわれ市民一人一人が啓発意識をもつことが大切だと思います。</p>	<p>脱炭素社会の実現に向けて、温室効果ガス排出量の大幅な削減が求められているため、市民・事業者・関係団体・市などが一体となり、あらゆる手法を用いて取組を加速していくことが求められます。</p> <p>市民に対しては、家庭でできる省エネ行動や省エネルギーの効率的な利用に関する情報を、市民や関係団体等の協力を得ながら、収集・発信するなど、意識啓発に努めてまいります。</p>	B
2	P2	<p>地域の視点からSDGs(持続可能な開発目標)の推進には、行政・市民・事業者が共通の課題として地域環境共生圏(ローカルSDGs)の形成推進に努めることは重要なことであり、その原点に立って計画の策定に臨むことの成果に期待します。</p> <p>なお、残念なことに、そのとっかかりともいえる図1がSDGsのイメージ画面があまりにも小さく17の目標と政策展開が全く読めません。環境省のインターネットで見ることでしか確認しようがありませんでした。図1に1ページ使うか3-1環境の将来像で17の目標が明らかになるよう掲載いただけないのでしょうか。地域で展開する施策目標としての位置づけであることからイメージだけでは思いが市民に伝わらないと考えられるので修正を望みます。</p>	<p>地球温暖化対策を筆頭に、資源循環や生態系の保全などの様々な環境問題に対して、環境・経済・社会の統合的向上を目指す「持続可能な開発目標(SDGs)」の考え方を活用した総合的な視点で取り組んでいくことが求められています。</p> <p>ご意見を踏まえ、「持続可能な開発目標(SDGs)」の環境・経済・社会に関する17のゴール(目標)については、本計画策定時の資料編で見やすい表記で掲載するよう、見直しいたします。</p>	A
3	P6	<p>1-4対象とする環境の範囲と内容ではSDGsやゼロカーボンなど新しい動向を内容を加えるべきでないでしょうか。再検討を要すると考えられます。</p>	<p>本計画で対象とする環境の内容は、江別市環境管理計画後期推進計画の取組を継続するとともに、環境を取り巻く社会情勢を踏まえて、強化すべき内容や、新たに位置付けることが必要とされる内容としております。</p> <p>再生エネルギーの活用や次世代エネルギーの検討などは、1-1「計画策定の背景」で挙げたSDGsの考え方や脱炭素社会の実現に向けた動きなどを踏まえた内容になります。</p>	C
4	P7	<p>1-5計画の期間を総合計画の10年間と同じにすることは妥当だと考えますが、途中での見直しについては、環境を巡る動向が早い可能性もあることから、総合計画に先駆けて必要な見直しをすることをもってはっきりとさせたほうが良いのではないかと考えられます。</p>	<p>本計画の見直しについては、計画の達成状況や社会情勢の変化などを勘案しながら、必要に応じて見直すこととしております。</p>	B
5	P20	<p>3-2各分野の目標と環境施策等の資源循環の「2R」、「3R」は関係者以外には内容がわからないので注記が必要ではないか。</p>	<p>「2R」、「3R」については、2「資源循環」(1)「現状と課題」①「ごみの減量化」の本文と下段の用語解説に内容を記載しております。</p>	B
6	P20	<p>ごみ処理だけでなく下水道汚泥について言及すべきです。</p>	<p>下水汚泥の活用については、2「資源循環」(2)「環境施策」の施策1「ごみ減量化の推進」で、農地還元を推進することとしております。</p>	B

No.	ページ	寄せられたご意見	ご意見に対する市の考え方	意見の反映状況
7	P23	1地球環境の図21及び図21引用であっても説明文が読める大きさにすべきです。この二つの図は地球温暖化対策の原点になるとの説明であり、本計画の重要ポイントであるので、市民への訴求力としてきちんと見えるものにすべきです。	ご意見を踏まえ、より見やすい表記となるよう、見直しいたします。	A
8	P28	⑤温室効果ガス排出量の江別市の排出量の2021年以降の排出推計値が2020年の実績値を下回っていることを丁寧な説明が必要であると思われる。既に目標が達成されているとの誤解を招くおそれがあるのでわかりやすく説得力のある説明が必要である。図36をここに掲載したほうがわかりやすいのではないか。	図29で示した令和3(2021)年度以降の温室効果ガス排出量の推計値は、今後追加的な対策を見込まないまま推移した場合の温室効果ガス排出量です。ご意見を踏まえ、よりわかりやすくなるよう、図の推計値の記載を見直しいたします。	A
9	P30	⑦再生可能エネルギーの図33は江別市内のせっかくの取組が字が小さく判読困難。積極的取組をアピールするため改善すべきです。	⑦「再生可能エネルギー」では、再生可能エネルギー導入に向けた現状と課題について説明しており、参考として図33江別市内の主な再生可能エネルギーマップを掲載しております。ご意見を踏まえ、本計画策定時の資料編で見やすい表記で掲載するよう、見直しいたします。	A
10	P33 P34	施策1の事務事業における脱炭素化の率先実行の(2)環境施策の市の取組として公共事業発注における省エネルギーとCO2排出削減を求める姿勢を示すべきであると思います。	1「地球環境」(2)「環境施策」の施策1「事務事業における脱炭素化の率先実行」では、江別市のすべての事務事業において、省エネルギー化を推進するとしております。省エネルギー化を進めるための具体的な取組については、検討を重ねた上で今後取り組んでまいります。	C
11	P33	「PPAモデル」はほとんどの市民には理解不能ではないか、注記説明が必要と考えます。	PPAモデルについては、1「地球環境」(2)「環境施策」の施策1「事務事業における脱炭素化の率先実行」でコラムを掲載し内容を説明しております。	B
12	P37	施策3の事業者の脱炭素経営の促進のうち、②事業者による脱炭素化の取組への支援では農業の特殊性を考慮した減農薬・減化学肥料、プラスチックの使用節減、省エネルギー・再生可能エネルギー使用を促進すべきと考えます。	事業者の脱炭素経営の促進については、脱炭素社会の実現に向けて、特定の分野ではなく、各分野の事業者に対して様々な手法による省エネルギー・再生可能エネルギーの普及促進をいたします。	C
13	P37	③J-クレジット制度の活用は他所で排出されるCO2に金を出してそれをえべつ地域で排出することになりかねないので促進には慎重に対処すべきです。	J-クレジット制度は、クレジットの創出により、温暖化対策に積極的な企業、団体としてPRすることができ、また、クレジットの購入をとおして、企業活動等を後押しすることができるなどのメリットが挙げられているため、制度の活用について、大学などの研究機関と連携して、取組事例の調査・研究を進めてまいります。	C

No.	ページ	寄せられたご意見	ご意見に対する市の考え方	意見の反映状況
14	P37	施策4再生可能エネルギーの導入拡大に向けたモデル構築における風力発電が市民ファンドでなければならないように見えるが、市内の風力発電ポテンシャルを生かす企業の風力発電の誘致も必要があると考えられます。	風力発電の活用については、手法の一つとして市民ファンドによる市民風車や垂直軸風車を挙げておりますが、企業による風力発電も含め、道内を中心とした事業手法や導入事例の研究を進めてまいります。	C
15	P38	施策5地域と共生した再生可能エネルギーの促進では家畜糞尿からのガスや発電利用だけでなくデンマーク例にあるような稲わら・麦わら・もみ穀、トウモロコシ穀などの圃場副産物の炭化燃料化、野菜くずや雑草などのエネルギー利用の促進による江別市農業のエネルギー自給力向上を図ることを提案したい。	1「地球環境」(2)「環境施策」の施策4「再生可能エネルギーの導入拡大に向けたモデル構築」で、地域資源を活かした再生可能エネルギーの導入は、民間事業者と連携を図りながら、具体的な手法を検討するとしております。導入手法の検討にあたっては、再生可能エネルギーとして利活用する資源についても研究を進めてまいります。	C
16	P39	(3)市民・事業者に期待される取組の①市民の取組に食品ロスの削減が加えられる必要があります。	食品ロスの削減に向けた市民の取組については、2資源循環(3)「市民・事業者に期待される取組」①「市民の取組」において、食べ残しや期限切れによる廃棄などを減らすこととしております。	C
17	P39	環境負荷の低い自動車の導入はすでに展開されています。検討するとの誤解を招きかねない表現は修正する必要があります。	環境負荷の低い自動車の導入が展開されている一方で、全国的に電動車等の普及率が低い状況であるため、普及拡大に向けて環境負荷の低い自動車の購入を検討することが必要と考えております。	D
18	P41 P42	②事業者の取組では前述の農業の特殊性に配慮した取組を示した方がよいと思います。	事業者の取組については、特定の分野ではなく、各分野の事業者に対して脱炭素経営への転換等の取組が必要と考えております。 なお、ご意見は担当部署に伝え今後の参考といたします。	C
19	P43	温室効果ガス排出量の削減、部門別の削減率が国の目標をスライドさせているにすぎないが、江別市の事情を考慮した部門別の削減率を無視していいのか疑問です。江別市ではどの部門で削減努力するのか内外に示すべきではありませんか。	江別市と全国の部門別排出量を比較すると、江別市は全国よりも家庭部門からの排出が多くなっていますが、脱炭素社会の実現に向けては、温室効果ガス排出量の大幅な削減が求められているため、市民・事業者・関係団体・市などが一体となり、すべての部門であらゆる手法を用いて削減への取組を進めてまいります。	B
20	P48	資源循環のごみ減量化の推進では市民だけでなく事業者に対する発生抑制、排出削減の働きかけを強化すべきで、プラスチックごみの削減についても事業者への発生抑制の働きかけが重要であり、効果が期待できます。	2「資源循環」(3)「市民・事業者に期待される取組」②「事業者の取組」として、事業活動や製造工程を見直して、原材料の使用抑制、食品ロスの削減、ごみの減量や資源化に努めるとともに、商品包装の簡素化や、レジ袋・プラスチックトレイの削減に努めることが必要と考えております。	B

No.	ページ	寄せられたご意見	ご意見に対する市の考え方	意見の反映状況
21	P49	コラムのエシカル消費の図は小さくて全く読めない、これでは引用搭載の意味がありません。	コラムに掲載のエシカル消費に関する図は、コラムの説明内容を補足するものです。 ご意見を踏まえ、本計画策定時の資料編で図の内容を掲載いたします。 図の詳細な内容については、資料編や出典先ウェブサイトをご覧ください。	A
22	P49	施策4の公共施設・インフラの維持管理・有効活用にあたっては環境配慮の大きい事業者等への優先発注、優先利用の方針を示すべきです。	公共施設・インフラの維持管理・有効活用については、省エネルギー化を進めることとしております。 省エネルギー化を進めるための具体的な取組につきましては、検討を重ねた上で今後取り組んでまいります。	C
23	P52	3自然環境の②野生生物については、アライグマだけでなく最近目撃されるエゾシカ、市内に侵入形跡があったヒグマについても考慮が必要になっています。	人と野生生物との共生を図るために、市民一人ひとりの野生生物全般に対する理解を深める機会の創出に努めます。	B